

1. 投稿論文は臓器・組織・細胞の機能の解析、保持、向上ならびにその生物学的利用などに関するもので、国内外を問わず他誌に未発表の内容であるか、あるいは他誌に投稿中の内容ではないこと。
2. 投稿論文の筆頭著者および共著者は原則として、日本臓器保存生物医学会員であること。
3. 研究方法が、その実施時点における法的、倫理的規範を遵守したものであり、それを論文中に明記すること。
なお、ここで言う法的、倫理的規範とは、人を対象とする医学系研究、遺伝子解析研究、動物実験、遺伝子組換え(編集を含む)実験、放射性同位元素実験などに関するものである。
4. 利益相反については開示をし、必要に応じて利益相反自己申告書を提出すること。
5. 内容は原著論文、総説、その他(声の広場、書評など)とし、その種目を明記すること。
6. 原稿は和文または英文とし、本文及び図表の電磁ファイルを本誌事務局にeメールで送付すること。
7. 本誌に掲載された論文の著作権は日本臓器保存生物医学会が有するものとする。
8. 原稿の採否は編集委員会において決定する。審査の結果、修正、削除、加筆を依頼する場合がある。
9. 原稿の掲載は、原則として受理順とする。

【論文原稿の書き方】

1. 表紙には表題、著者名、所属、キーワード(5語以内)(以上和文および英文)、責任著者連絡先を記入する。
2. 原著、総説には100語程度の英文の要旨をつける(できれば日本語対訳もつける)。
3. 原著論文は、英文要旨、序文、材料と方法、結果、考察、文献の順序とする。総説等は既報に準じる。
4. 図・写真は鮮明なものを添付すること。冊子体仕上がりでは原則としてモノクロとする。Pdf別刷ではカラー化も可とする。
5. 引用文献は本文中の引用した箇所にカッコ付きで番号を付し、末尾に引用順に一括掲載する。文献情報の記載は次の形式に従う。
 - 1) 雑誌の場合: 引用番号、著者名、論文題名、誌名、巻、初めの頁~終りの頁、発行年(西暦)の順。誌名の略称はIndex Medicusあるいは医学中央雑誌に従う。
例
1) Bilchik AJ, Salantou T, Foshag LJ, Giuliano AE, Ramming KP. Cryosurgical palliation of metastatic neuroendocrine tumors resistant to conventional therapy. *Surgery* 122: 1040-1080, 1997
 - 2) 単行本の場合: 引用番号、著者名、章題名、書名、編者名、初めの頁~終りの頁、発行年(西暦)の順。
例
2) Kenmochi T, Asano T, Ito T. Living donor for pancreas transplantation. In *Marginal donors, current and future status.* eds by Asano T, Fukushima N, Kenmochi T, Matsuno N. 225-234, Springer, 2014
6. 原稿送付に際し、所定の「Organ Biology 投稿時申告書(Organ Biology Cover Letter)」と「筆頭演者・著者の利益相反自己申告書」に必要事項を記入し、添付すること(これらの書式は <http://jognbio.umin.jp/1403.html> からダウンロードできます)。

【原稿送付先】

(一社)日本臓器保存生物医学会事務局 organbio@tokyo-med.ac.jp

〒193-0944 東京都八王子市館町 1163

東京医科大学八王子医療センター

「日本臓器保存生物医学会」事務局

TEL 042-665-5611(内線 4483)

FAX 042-665-2149